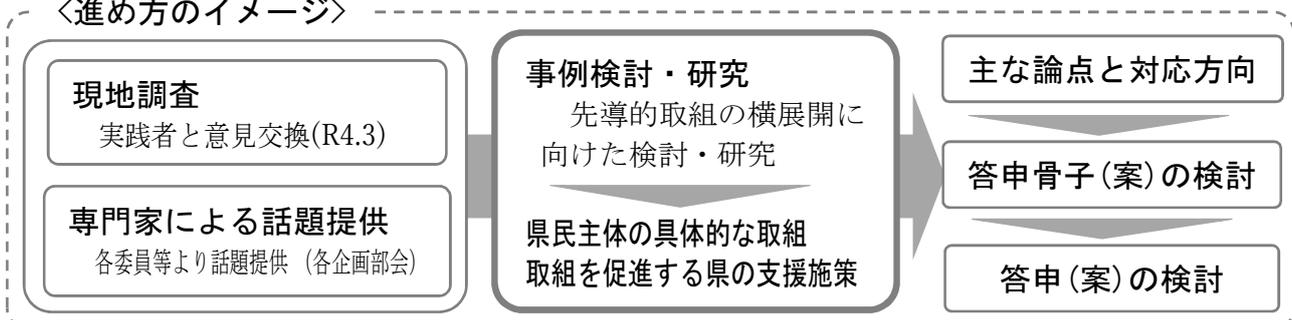


農林水産企画部会での審議の進め方

1 部会の進め方

- (1) 第2回総会に向け、現地調査や専門家による話題提供を通じた先導的な取組(事例)の事例検討と横展開するための事例研究を行い、生産者や地域住民、県民(生活者)が主体となった具体的な取組や、その取組を促進する県の支援施策を検討して課題を整理し、主な論点と対応方向のとりまとめを行う。
- (2) その後は、各回の総会に向け、引き続き、部会において専門家による話題提供等を通じた事例検討・研究を重ね、答申案を作成していく。

〈進め方のイメージ〉



2 現地調査と話題提供

(1) 現地調査

第1回総会で審議した先導的な取組を主な対象(別紙参照)に、現地調査(事例検討)を行う。

なお、現地調査は、事務局がヒアリング等を通じて事例検討を行うことを基本とし、そのうち、委員が参加する調査は、農業、畜産業、林業、水産業から各1分野の4事例を選定して行う(資料3)。

(2) 話題提供

専門家による話題提供は、農業、畜産業、林業、水産業、流通業、食品産業等の各分野に横断的にかつ、広く県民の行動変容の提案につながる内容とする。

【話題提供の候補】

時期	主な議論のテーマ	内容等
第1回部会 (R4.1.26)	地域協働・多様な分野との連携	郷土活性化を実現する地域連携モデル (株)ワールド・ワン取締役 松波知宏 委員
第2回部会 (R4.6)	消費行動やライフスタイルの変化への対応	健康な体と持続的な社会のために対価を払う意識の変化(三方よし) Smile Circle(株)代表取締役 岩城紀子 委員
第3回部会 (R4.8)	今後、調整を実施	【主な議論のテーマ】 カーボンニュートラル、DX(デジタルトランスフォーメーション)、 食料安全保障・食料自給率の向上等
第4回部会 (R4.12)		
第5回部会 (R5.6)		

